

## 第262回教員会議 議事要録

日時：平成30年1月31日（水）13：30～14：40

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

### ◆教員会議◆

#### [審議事項]

#### 1. 学類長

##### (1) 評議員の選出について（選挙）

2名連記・無記名の投票が行なわれた。投票者数39名で、次期の評議員が選出された。

##### (2) 学類配分の教員人件費ポイント使用の中期計画について

平成30年度より5年間の人件費ポイント使用の計画が投影され、人事委員会で検討した申し送り事項について説明された。全体の方向性について了承を求め、平成30年度実施分について教育研究院会議への発議について了承を求めるものである。平成31年度以降の具体的な人事は、その都度、教員会議に発議する。

理工教員の年齢分布に偏りがあること、他学類に比べ教授昇任年齢が遅いこと等が示され、平成30年度のポイント超過は許容されそうであること等の情報提供がなされた。理工学類での特任教員Bの任用は平成31年4月を想定している。

中期計画と、教授への昇任枠を教育研究院会議へ要求することが、了承された。

#### 2. 入学試験委員会

##### (1) 平成30年度私費外国人留学生入試合否判定について

回収資料に基づき合否判定が行なわれた。志願者16名・受験者13名のうち、7名を合格とする提案がなされ、了承された。

合格者は、男性6名・女性1名、ベトナム4名・中国2名・モンゴル1名といった情報提供がなされた。

#### 3. カリキュラム検討委員会

##### (1) 平成31年度からの新カリキュラムについて

資料1に基づき、検討状況と寄せられた質問への回答が示された。

9コースを設置することを確定させ、教職関連科目を先行して確定させることが、了承された。

教職の再課程認定の作業では隔年開講となっている科目に留意するよう発言があった。食農学類の科目も開講されるため、教室のキャパシティーに問題が無いか検討し確認するように要望があった。教員組織としての専攻名の確定はいつになるのか、学系組織と同一名称で問題は無いのかといった質問があった。専攻名については将来構想検討委員会で検討し3月までには確定させ、大学院の分野と一致することから大学院のPRにも用いていく旨の回答があった。

#### 4. 教務委員会

##### (1) 非正規生（研究生）の受け入れについて

資料2に基づき、1名の受け入れが報告された。

#### [報告事項]

##### 1. 共通教育委員会

##### (1) 平成30年度共通領域科目非常勤講師計画について（毎週・単発）

資料3に基づき、非常勤講師計画が報告された。

##### (2) 平成30年度共通領域科目授業一覧及び時間割について（前期・後期）

資料4に基づき説明され、時間割などが決定したので確認するように要請があった。

##### 2. 奨学寄附金等の受入れについて

受け入れは無かった。

##### 3. その他

食農学類の平成31年度入試問題作成についての検討状況が紹介された。物理・化学は理工の問題をそのまま食農で用い、採点は食農で行なう予定である。生物は食農が独自に作成する。数学については検討中であるが、理工に負担をかけない方向を模索している。

#### ◆運営会議◆

##### 第103回（1月30日開催）報告

##### (1) 古本一斉収集について

古本を回収し収益を基金とすることが報告された。

##### (2) 「第69回全国植樹祭ふくしま2018」への協力依頼（学生ボランティア）について

南相馬市で行なわれる植樹祭でのボランティア（40名）の募集への協力が要請された。